

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	1242	柘植浄化センター維持管理経費	会計	11	公共下水道事業特別会計	
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	01	事業費	
施策	2	公共下水道の推進と整備	項	01	施設管理費	
			目	01	施設管理費	
			細目	101	施設管理費	
			細々目	06	柘植浄化センター維持管理経費	
基本計画該当頁	108		コード	553500		評価者
行革大綱の重点事項番号	-		名称	伊賀支所産業建設課		氏名
					産業建設課長	連絡先
					土永 瑞穂	45 - 9109 (内線) -

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	柘植処理区域内の住民 (※対象件数 柘植地区 計画処理人口6,900人)	成果(どうなるのか)	処理施設の適正な維持管理によって、家庭等からの雑排水や尿が、きれいな水に浄化されて排出されることにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。
開始年度	平成 9 年度	関連事業	農業集落排水事業	
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	下水道法・水質汚濁防止法・伊賀市公共下水道条例・同施行規則	
事業内容	排水処理施設の設備や機械・装置等の保守・点検 浄化処理により発生した汚泥の処分 料金徴収事務	状況変化等	・供用開始から11年が経過していることにより電気機械設備の修繕費用が増加している。 ・新規加入者や接続数の伸びが鈍化している。	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
施設保守点検(2週/回)	回	目標	10	目標	10
		実績	10	実績	10
水質検査(2ヶ月/回)	回	目標	4	目標	4
		実績	4	実績	4
汚泥処分回数	回	目標	41	目標	42
		実績	34	実績	36
料金調定件数	件	目標		目標	13500
		実績	13552	実績	13279
		目標		目標	
		実績		実績	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(施設保守・点検、汚泥処分は、委託)
2 配置(予定)人員	0.1 人
3 年間運営費	37,318 千円
4 市内の類似施設	農業集落排水処理施設 21施設 公共下水道、特定環境保全公共下水道施設 6施設

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
排出基準達成率(達成回数/測定回数)	処理水の水質検査結果が、浄化槽法及び水質汚濁防止による排出基準、及び施設の目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、水質検査測定回数に対する達成回数の比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができていくかを把握できる。	%	目標	100	目標	100
			実績	100	実績	100
使用料収納率(収入額/調定額)	適正な維持管理は、施設の健全な経営がなされて達成可能であり、維持管理経費の原資となる使用料の徴収率向上は、経営健全化及び適正な維持管理の達成度の指標となる。	%	目標	95	目標	95
			実績	87.6	実績	94

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。
有効性	4	汚水処理能力の保持には、適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
達成度	3	排出基準内で放流し、区域内住民からの悪臭、水質汚濁等の苦情件数や施設の故障等による使用中止事件もなく、概ね適切に事業が遂行されている。
効率性	3	施設の機械・装置等の適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る、委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫をする余地がある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	統合	一層の維持管理コストの削減に努めると共に、水洗化率の向上に努める。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容						
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)				
委託	工事	需用費	1	式	8,621	需用費	1	式	10,102	需用費	1	式	12,657	需用費	1	式	12,700
		役務費	1	式	3,257	役務費	1	式	2,929	役務費	1	式	2,990	役務費	1	式	3,000
		委託料	1	式	36,057	委託料	1	式	17,972	委託料	1	式	16,332	委託料	1	式	16,350
		その他	1	式	11,884	その他	1	式	4,638	その他	1	式	5,339	その他	1	式	5,350
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	59,819	事業費計(A)	Σ	35,641	事業費計(A)	Σ	37,318	事業費計(A)	Σ	37,400				
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト (A)+(B)				60,539			36,361			38,036			38,120				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	(A) 事業費	金額	(A) 事業費	金額	(A) 事業費	金額
国庫支出金	59,819	国庫支出金	35,641	国庫支出金	37,318	国庫支出金	37,400
県支出金		県支出金		県支出金		県支出金	
地方債		地方債		地方債		地方債	
受益者負担		受益者負担		受益者負担		受益者負担	
その他	59,819	その他	35,641	その他	37,318	その他	37,400
一般財源	0	一般財源	0	一般財源	0	一般財源	0
計	59,819	計	35,641	計	37,318	計	37,400
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	施設使用料	施設使用料 諸収入 32千円	施設使用料 雑収入 1千円	施設使用料 雑収入 1千円	施設使用料 雑収入 1千円	施設使用料 雑収入 1千円